



暑さと、大量に舞う粉じんの中で訓練する消防士たち

いざという時のため 技術を学ぶ

輝らめき館で若手消防士たちが訓練

熊本市消防局(益城西原消防署)の若手消防士たちによる救助訓練が8月30日、解体予定の男女共同参画センター輝らめき館を利用して実施されました。

これは、閉じ込めなどからの人命救出を想定した訓練で、壁などを特殊な工具で切断し、使用方法やケースごとのアプローチを習得するものです。

日置啓一消防司令補は、「震災時、この技術で救出に至ったケースもある。なかなかできる訓練ではないが、どんな場面にも対応できるようにしたい」と話しました。

思い出の渡り廊下 再び

木山中西側渡り廊下の渡り初め

9月4日、木山中学校の復旧した西側渡り廊下で、生徒らによる渡り初めがありました。

同中の渡り廊下は、熊本地震により倒壊し、平成30年3月から復旧工事が行われていました。東側渡り廊下はまだ工事が行われています。

入学してすぐに被災した生徒会長の山本侑奈さん(3年)は、「渡り廊下が使えなくなって、当たり前であることのありがたさに気づくことができました」と話し、復旧した嬉しさと感謝を表しました。



復旧した渡り廊下を渡し、握手をする生徒と関係者



笑顔で爽やかに報告する甲斐さん(左)と遠山さん(右)

憧れの大舞台で、宝物のような経験

町在住の東海大星翔高校球児が報告

県大会を見事突破し、第100回全国高等学校野球選手権記念大会に出場した東海大学附属熊本星翔高等学校の甲斐一真さん(小池秋永)と遠山彰吾さん(馬水北)が8月27日、町長室を訪れ、西村町長に報告をしました。

西村町長は、自身の球児時代の話を交え、二人にねぎらいの言葉をかけました。甲斐さんは「憧れの舞台。緊張よりも楽しさの方が強かった」と話し、遠山さんは「今まで経験したことのない歓声を受けた。一生の宝物・財産になった」と話し、地元への感謝も口にしました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

